カリキュラム区分	5カリ	シラバス区分	大学院

科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M207	1年	後期	看護学	選択	看護技術学特論 Advanced Study on Development of Nursing Care	30	2

担当教員					
徳永　なみじ	窪田　静				

関連するDPキーワード（看護学専攻）	
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。
○	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。
○	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
○	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）	
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

授業目的

看護技術研究論と看護技術教育論を学ぶ。看護技術研究論では、新たな看護技術の開発および検証のプロセス、看護技術教育論では、看護技術教育力を高めるための方法論を修得する。

到達目標（授業目標）

1．看護技術学の定義、研究領域について説明できる。
2．看護技術開発・教育に関する国内外の研究成果がクリティークできる。
3．看護技術開発に向けた研究方法をシミュレーションする。
4．看護技術を効果的に教えるための最新の方法を説明できる。
5．看護技術教育をシミュレーションする。
6．これらのプロセスを通して、看護技術の開発・教育のための自己課題を明確にする。

授業計画（項目・内容と方法・担当者）

授業概要	1．看護技術の開発と検証①実験的アプローチ（徳永なみじ） 1回　看護技術学の定義、研究領域の概観、看護技術に関する疑問・問題意識の明確化 2回　看護技術開発に関する国内外の研究成果のクリティーク 3回　シミュレーションワーク～プロトコル作成、環境設定、データ収集と解析～ 4回　シミュレーションワーク～プロトコル作成、環境設定、データ収集と解析～ 5回　シミュレーションワーク～評価と課題～ 2．看護技術の開発と検証②実践的アプローチ（窪田静） 6回　看護技術に関する疑問・問題意識の明確化の例、体圧分散・体位変換と褥瘡 7回　実践から研究へ　ベッドで身体を起こすこと 8回　体験学習　摩擦軽減、ベッドで身体を起こすこと 9回　体験学習からのクリティカルな考察 10回　看護のケア技術開発の課題 3．看護技術教育の方法（徳永なみじ） 11回　看護技術教育と授業設計 12回　看護技術教育に関する国内外の研究成果のクリティーク 13回　シミュレーションワーク～授業計画の立案～ 14回　シミュレーションワーク～模擬授業の実施～ 15回　シミュレーションワーク～授業評価とまとめ～

成績評価方法及び基準
各教員の課題レポート（90%）と取り組み状況（10%）で評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	適宜、授業の中で紹介する。
参考図書等	適宜、授業の中で紹介する。

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）
文献のクリティーク、シミュレーションワークを主体的に行う。

関連科目										
前科目	M208	看護教育学・技術学	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ				
後科目										

実務家教員						
看護師（医療機関）	徳永なみじ	窪田静				

備考	看護技術開発・看護技術教育を修士論文の研究課題とする場合、本科目の履修を必須とする。